

東白川村 美しい村づくり 委員会

第98回

○場 所：神土交流サロン

○時 期：令和7年7月3日 19:00～21:00

○参加者：委員6名 行政4名 一般2名

第1 村長あいさつ

みなさんこんばんは。今回もご参加ありがとうございます。今月も変わらず、公務スケジュールで予定が埋まり、今回委員会は7月にずれ込みました。多忙な日々が続きますが、だからこそ、自身の健康管理もしっかり行っています。そんな中、東京で国の会議に出席してきました。現在、日本面積50%の田舎に人口の2.5%が住んでいる状況です。この数値からだけでも、地方への更なる税収還元が必要なことは明らかだと考えています。また、米の話題が続いていますが、日本の6割が大規模農家による産出ですが、東白川村のような中山間地域では、圃場集約型大規模農家のように効率化による対応は困難です。一方で、中山間地域は、森林や水田が洪水防止など多面的機能を果たしているため、森林環境譲与税や中山間地域の直接支払いなどで還元していく必要性があります。ですから、現在、直接支払いの算定基準では斜面の傾斜によって額が決まっていますが、多面的機能を考慮反映した新たな算出方法が必要です。東白川村の地域づくりについて、本日もよろしくお願いいたします。

第2 第5期美しい村づくり委員会について

第5期取組みについて事務局から説明を行いました。

メインミッションである「みんなの学び合い会」の目的や活動イメージの

説明の後、取り扱うテーマやゲストについてアイデア出しを行いました。

※添付資料、添付写真参照

<今年度テーマ決定>

- ・空き家利活用（県との共催）
- ・野菜づくり
- ・自然教育（WWF,バードリサーチとの共催）
- ・山の機能
- ・ホテルの保全

1 産業建設課（林務担当）より鳥類調査について

FSC®認証に関連して、WWF®ジャパンが「持続的な森林管理の推進」「環境保全に意識を持った人が増える」といったことを目的として東白川村でプロジェクトを行っています。その一環として、鳥類の調査を行った結果を村の人に周知するイベントを企画中です。日程は未定ですが、鳥類調査の報告会を行うので、美しい村づくり委員会のメンバーのご協力のもと、まわりの人を誘ってぜひ参加してもらいたいです。

上記依頼を受けて、美しい村づくり委員会との共催が決定し、みんなの学び合い会にて開催することとなりました。

（意見交換）

- ・最近、家の庭にキセキレイが巣を作ったり、ヒヨドリが塀をつついたり、鳥を身近に感じる出来事があった。天敵に見つからないように、巣から離れたところに下りてから巣に向かうなど、興味深い生態を観察し、巣立ち後は寂しくなった。
- ・中通荘では、朝 4 時半から鳥がなきはじめ、鳥の声で起きる幸せ感。鳥の鳴き声を流すと答えてくれる。近くの棚田が手入れされているせいか、近年鳥が増えてきているように感じる。
- ・畑仕事をしていると「この鳥は何だろう？」と思うことがある。
- ・鳥の名前を教えてもらいたい。ほっと茶んねるで特集を組んでもらいたい。
- ・名古屋市科学博物館の鳥の展示を見に行ったが、老若男女でにぎわってい

た。

- ・子どものころは、鳥の話題が身近だった。鳥モチで鳥を取ったりもしていた。
- ・子供の頃いなかった鳥（アオサギ、カワウ、カモなど）を最近見るようになった。アユの放流の影響もあるのだろうか？
- ・先日、はじめて見る鳥がいて、調べるとヨシゴイであった。トンビとカラスのバトルを見た。サギが巣を作っており、その巣を別のサギが狙っていた。
- ・鳥類調査の学術的な発表というだけでは、なかなか村の人は来てくれない可能性がある。村の人にとって身近な話題に結び付けることで、関心をもってもらえるのではないか？例えば、昔の鳥との思い出話（映画「鳥の道」のような、カスミ網漁の話や、子どもの頃鳥を飼った話など）とか、「たくさんの生き物がいることが私たちにとってなぜ大切なのか？」ということなど。
- ・鳥は絵の題材として面白い。自分も絵を描くことで参画できるかもしれない。

（委員交換：野菜作り）

- ・有機農業に関心の高いメンバーもいると思うが、幅広く村の人を呼びたいので、「お金のかからない農法」のようなソフトな表現にするなど工夫する必要がある。

（意見交換：ホタルについて）

- ・最近ホタルを見ていない。1年おきに多かったり少なかったりする。
- ・大明神や日向、西洞などで、最近もたくさん見た。天気や時間帯によってみられる数が変化する。
- ・車のウィンカーやランプなどに寄って来たり反応したりする。
- ・街灯が無いおかげでホタルが多いのかもしれない。
- ・現在は村外にいる方が、ホタルの保全活動を長年やっている。
- ・西洞でホタルのいるきれいな水で育てた米などブランド化できるのでは。

(意見交換：川)

- ・魚も少なくなった。ヤツメウナギ、ドウゼン、アカゼン、マタイチなど、昔はいたが、今はみなくなった魚も。
- ・昔、ニゴリスキといって、大水が出た後に川の水のよどみを大きな網ですくうことが行われていた。ナマズやアユもとれた。
- ・現在は漁業組合のルールで網解禁以降でないとすくえない。
- ・取った魚を囲炉裏の上でわらの束にさしていぶした。それをさらに焼いて食べるとカリカリでおいしい。毎日火を焚いていた。昭和 30 年代くらいの話。
- ・昔は大水がでると、材木が流れてきた。

第 3 情報提供（事務局）

- ・聞き書き発表会が 8 月 8 日に美濃加茂市で行われます。今年は、谷口屋の今井悦子さんと美濃加茂市の高校生による聞き書きが発表されます。
- ・がんばる地域づくり補助金活用イベントについて、戦争と平和をテーマにした朗読会はテレビ局の取材も来て大盛況でした。平地区で夏祭りが開催予定です。また、3 回目となるバイクイベントの補助金申請プレゼンが 7 月に予定されています。
- ・空き家利活用事例紹介「さかさま不動産」について
- ・「暦くらす」は 6 月にお茶摘みイベントを実施。9 月に植物観察会の予定。
- ・7 月 5 日（土）に日進市市内にて名古屋学芸大学の学生による東白川村の特産品販売を予定。
- ・交流会（メンバーがバーベキューなど）、メンバー以外も含めた村民の交流も年 2 回ほど実施したい。

第 4 私の近況報告

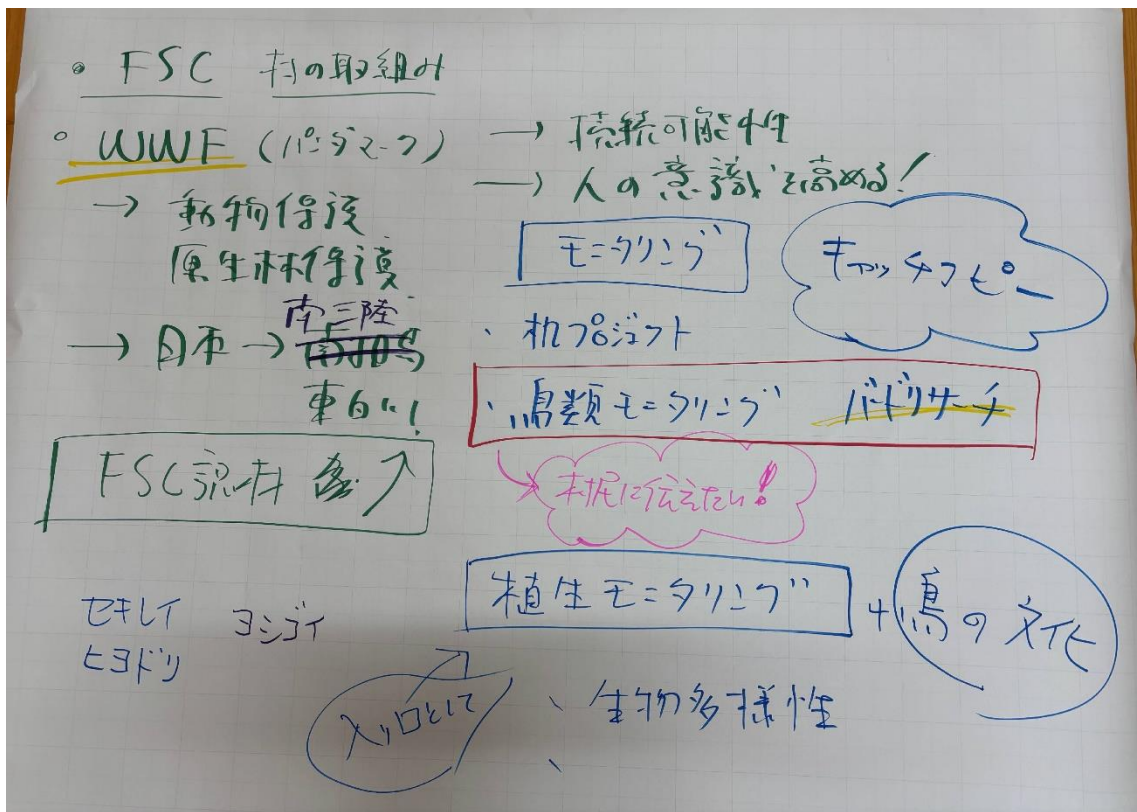
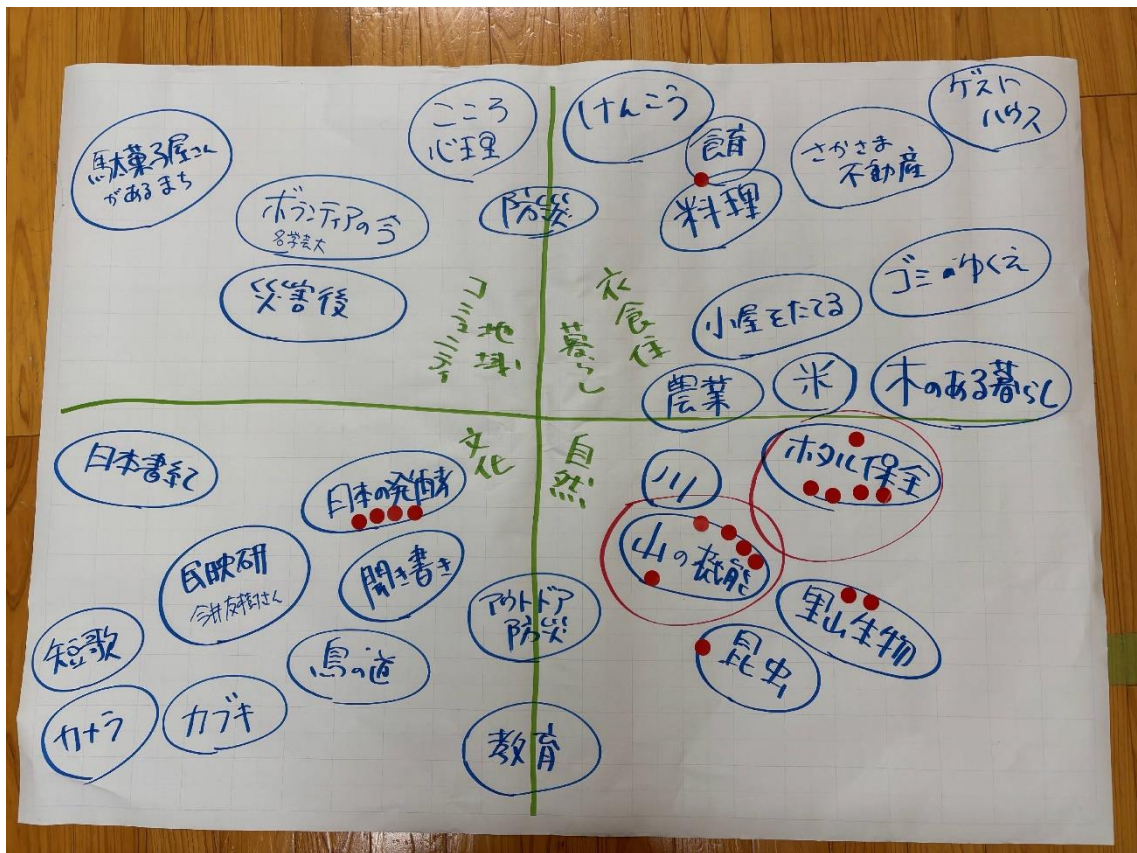
参加者全員の近況について対話を行いました。

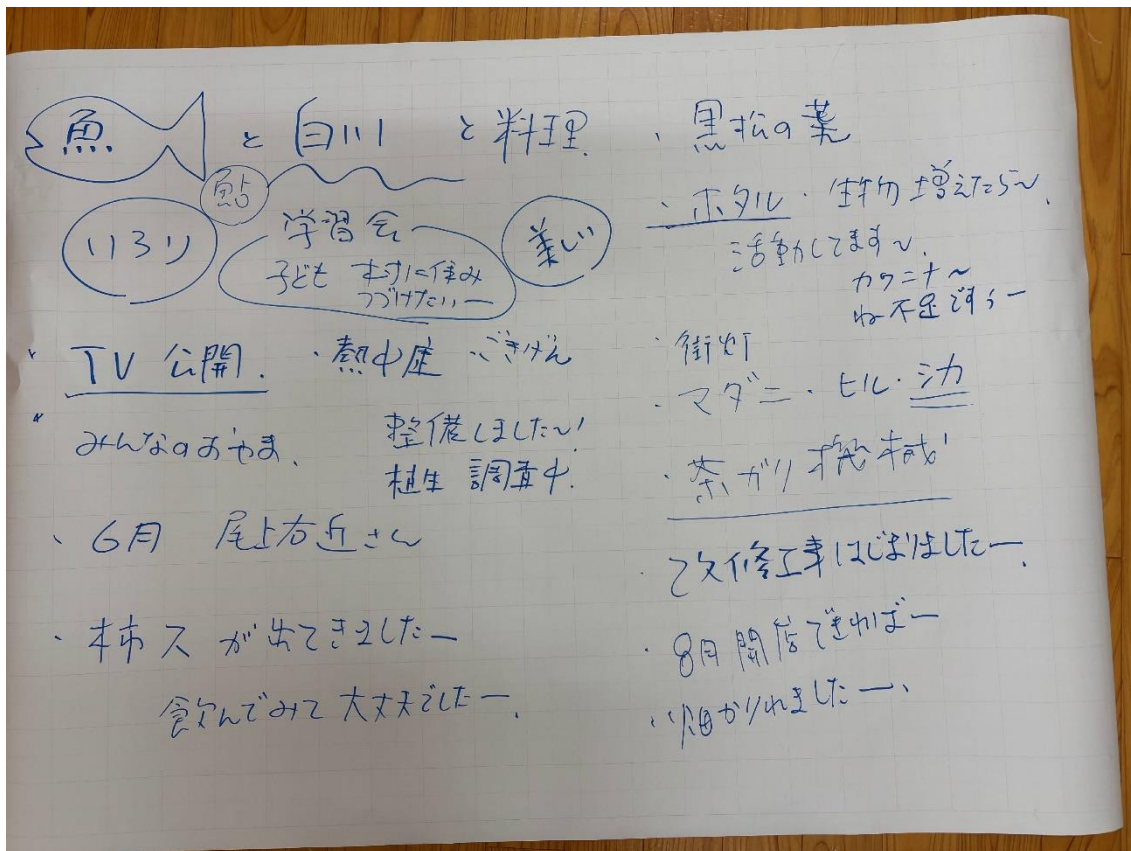
第5 閉会 (21:00)

〈次回〉 7月25日(金) 19時から 神土交流サロン

第98回美しい村づくり委員会

村長 ・ ちゅう中. 議会に...。 数務な毎田河。
ラスト・ケモ 海投葉1週間ツイン。
・ 参院選 ↓ 税金が元 いた...。
・ 山村人口減少 = 50% 2.5%
(土地) (人口)
⑥ 新規模農家 → 米・茶...。
・ (山) 多目的機能
・ (田) 多目的機能
・ 中山間地直接支拂
の計算方法





以上